



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	2014年度北方研究教育センターの活動
Citation	北方人文研究, 8, 129-131
Issue Date	2015-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/58454
Type	other
File Information	08_08_houkoku.pdf



〈報 告〉

2014 年度北方研究教育センターの活動

2014（平成 26）年度は小規模の講演会 1 件、国際シンポジウム 1 件のほか企画展示および写真展各 1 回を行なった。またウェブサイトを更新して新たに英語ページを追加し、英語による情報発信も積極的に行なっている。

1. 講演会等

(1) 講演会「サハリン先住民文化の保存・復興と博物館活動」

2014 年 6 月 9 日 18:30-20:00

講師：

E. フィルソフ

O. ソロヴィヨフ

（ともにサハリン州郷土博物館研究員）

ロシア連邦サハリン州の州都ユジノサハリンスクにあるサハリン州郷土博物館は、ウイльтаやニブフをはじめとする先住民族の文化や言語を保存・研究し、さらに普及・復興活動にも重要な役割を果たしている。博物館でこうした活動に取り組んでいる 2 名の研究員が、博物館展示や博物館における活動について解説をした。（通訳つき）

(<http://cnh.let.hokudai.ac.jp/news/957/>)

北方研究教育センター講演会

サハリン先住民文化の 保存・復興と博物館活動

講師：E. フィルソフ
O. ソロヴィヨフ
(サハリン州郷土博物館研究員)

サハリンにはウイльтаやニブフをはじめとする先住少数民族が暮らしています。州都ユジノサハリンスクにあるサハリン州郷土博物館は、先住民文化や言語を保存・研究し、さらに普及・復興活動にも重要な役割を果たしています。博物館でこうした活動に取り組んでいるお二人の研究員の方からお話をうかがいます。（通訳つき）

2014 年 6 月 9 日（月）18:30-20:00

会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）309
※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

定員 50 名（申し込み不要です）

主催 北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

後援 北海道大学総合博物館

連絡先: cnh-office@let.hokudai.ac.jp
<http://cnh.let.hokudai.ac.jp>

(2) シンポジウム「北方の言語と文化にかんする国際シンポジウム」

International Symposium on Northern Languages and Cultures

2015 年 1 月 24～25 日

北方研究教育センターと北海道大学アイヌ・先住民研究センターの共催により国際シンポジウムを開催した。本学を中心とし、札幌市内および日本各地の研究者らがシベリア地域および北海道の先住民族の言語・文化について報告を行なった。

プログラム

1 月 24 日（土）

セッション 1：言語・文化継承とドキュメンテーション（通訳つき）

1. ウラジスラフ・リンティテギン（チュクチ総合カレッジ）

チュコトカにおける民族舞踊保存への道と舞踊文化の実現

2. ワレンチン・グセフ（ロシア科学アカデミー言語学研究所）

モスクワ言語学研究所における少数言語コーパス構築プロジェクト

セッション2：民族誌の言語資料

3. 永山ゆかり（北方研究教育センター）
クラシェニンニコフのコリヤーク語資料
4. 丹菊逸治（アイヌ・先住民研究センター）
19世紀末に採録されたニヴフ語テキスト
5. 長崎郁（国立国語研究所）
V.I. ヨヘリソンのユカギール語テキスト
6. 江畑冬生（新潟大学）
ウワロフスキーによる最古のサハ語テキスト
7. 松本亮（京都大学）
古いエヴェンキ語テキストの表記方法について
8. 山田敦士（日本医療大学）
無文字社会における他者の記録：中国雲南省ワ族の事例

1月25日（日）

セッション3：言語の記録・保存

1. 白石英才（札幌学院大学）
ニヴフ語の母音弱化にかんする音響音声学的調査
2. 白尚燁（文学研究科博士課程）
ツングース諸語の記述的研究史
3. 津曲敏郎（北方研究教育センター）
テキスト・音声データの公開と電子アーカイブ化

セッション4：アイヌ文学とアイヌ語

4. 矢崎春菜（文学研究科博士課程）
アイヌに伝わる湿地のお化けたち
5. 北原次郎太（アイヌ・先住民研究センター）
アイヌ口承文芸の1論点 - 半神半人としてのアエオイナカムイとヤイレスーポー
6. 奥田統己（札幌学院大学）
アイヌの自叙体文芸における文法と構成の技法
7. 岸本宜久（文学研究科博士課程）
アイヌ語沙流方言の補助動詞構文における述部の複合制約
8. 高橋靖以（アイヌ・先住民研究センター）
アイヌ語のドキュメンテーション：現状と課題
9. 佐藤知己（北方研究教育センター）
アイヌ語の抱合における残置(stranding)回避手段としての充当態(applicative)
(<http://cnh.let.hokudai.ac.jp/news/1459/>)



ISNLC 2015
International Symposium on Northern Languages and Cultures

参加無料
事前申込不要

2015年
1月24日[土]・25日[日]

北海道大学情報教育館3階
スタジオ型多目的中講義室
(北海道札幌市北区北17条西5丁目)

1/24 10:00~16:50
開会挨拶

Session 1 10:10~12:00
③ 言語・文化継承とドキュメンテーション
● ウラジスラフ・リンチイダシ
(チュクチ語研究者)

Session 2 13:30~16:50
民族誌の言語資料
● 永山 ゆかり (北方研究教育センター)
● 丹菊 逸治 (アイヌ・先住民研究センター)
● 長崎 郁 (国語研究所)
● 江畑 冬生 (新潟大学)
● 松本 亮 (京都大学)
● 山田 敦士 (日本医療大学)

1/25 10:30~17:00
Session 3 10:30~12:00
言語の記録・保存
● 白石英 才 (札幌学院大学)
● 白尚 燁 (文学研究科博士課程)
● 津曲 敏郎 (北方研究教育センター)

Session 4 13:30~16:50
アイヌ文学とアイヌ語
● 矢崎 春菜 (文学研究科博士課程)
● 北原 次郎太 (アイヌ・先住民研究センター)
● 奥田 統己 (札幌学院大学)
● 岸本 宜久 (文学研究科博士課程)
● 高橋 靖以 (アイヌ・先住民研究センター)
● 佐藤 知己 (北方研究教育センター)

開会挨拶



2. 展示

(1) 企画展示「北方スタイル 2014」

2014 年 4 月 8 日～5 月 31 日

インフォメーションセンター「エルムの森」

文学研究科企画展示「『ほかにない』がここにある。」の一部として、北方研究教育センターの活動内容を紹介した。過去の催しのフライヤー、センター紹介ポスター（2014 年 3 月作成）、2011 年に実施した文学研究科「書香の森」企画展示「北方スタイル」（全 3 回）で展示した作品のほか、未公開作品を展示した。

(<http://cnh.let.hokudai.ac.jp/news/843/>)



(2) 写真展「忘れられた歴史のページ：20 世紀サハリン先住民の暮らし」

2014 年 7 月 1 日～7 月 25 日

北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」ギャラリー

北方研究教育センター・北海道立北方民族博物館・サハリン州郷土博物館共催、北海道大学総合博物館の後援により、巡回写真展を開催した。サハリン州郷土博物館および北方民族博物館所蔵の写真や絵はがきから、20 世紀初頭のサハリン先住民の暮らしを紹介した。

(<http://cnh.let.hokudai.ac.jp/news/1242/>)

北海道立北方民族博物館 移動写真展

忘れられた歴史のページ 20 世紀サハリン先住民の暮らし

数寄屋町 12 号、撮影撮影、北方民族博物館蔵

サハリンにはウイリタやニブフをはじめとする先住少数民族が暮らしています。サハリン州郷土博物館および北方民族博物館所蔵の写真や絵はがきから、20 世紀初頭のサハリン先住民の暮らしを紹介します。

2014 年 7 月 1 日 (火) ～ 2014 年 7 月 25 日 (金)

- ◆ 開館時間 10:00 ～ 20:00 (平日のみ) ※最終日は 15:00 まで
- ◆ 休館日: 土日祝日 ◆ 入場無料

会場 北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」ギャラリー
(札幌市北区北 11 条西 8 丁目 北大構内)

主催 北海道大学大学院文学研究科 北方研究教育センター
共催 北海道立北方民族博物館・サハリン州郷土博物館
後援 北海道大学総合博物館

お問い合わせ先: 北方研究教育センター cnh-office@let.hokudai.ac.jp